

平成11年6月25日

日本分析化学会 高分子分析研究懇談会 会員各位殿

日本分析化学会 高分子分析研究懇談会
会長 森 定雄

第301回例会(夏期合宿)開催案内

貴社ますます御盛祥のこととお慶び申し上げます。第301回の例会を下記のように開催いたします。

夏の恒例として合宿の形で行います。期日が祭日にかかりますので、出にくいかもしれませんが、例年にも増して有意義なものにしたいと考えておりますので、是非、御出席下さいますように御案内申し上げます。

記

1. 日時 平成11年7月19日(月)14:15~20日(火)14:00

2. 場所 アジアセンター

神奈川県小田原市城南 (☎0465-22-6131)

3. 予定

セッション1: 講演 7月19日14:00~17:00

「反応熱分解ガスクロマトグラフィーによる高分子材料および天然有機物のキャラクタリゼーション」 (名古屋大学) 石田康行氏

熱分解ガスクロマトグラフィーは高分子の構造解析を迅速、簡便、かつ高感度に行ない得る実用分析法であるが、極性の強い有機物や主鎖中にエステル結合などを含む縮合系高分子に直接適用して、詳細な構造解析を行なうことは通常困難である。

本講演では、これを克服するために固体酸や有機アルカリなどの各種化学試薬共存下で化学反応を加味した化学熱分解を行なう反応熱分解ガスクロを用いてポリカーボネート、ワリアセタル等の縮合合成高分子、及び、シエラック樹脂や天然ワックス等構造中にエステル結合含む天然有機物の詳細なキャラクタリゼーションを行なった例を紹介する。

(講師からのメッセージ)

「法科学試料の微量微小分析法について」

(愛知県科学捜査研究所) 肥田宗政氏

法科学試料の分析における最良の方法は、裁判上貴重な試料を傷つけずに行なう非破壊法であるが、非破壊法では十分な分析が出来ない場合がしばしばあり、試料の極一部を消費して行なえる十分満足できる分析法の開発が望まれている。又、犯人自身も気づかないほどの微小な試料の分析や、複雑な夾雑物から微小な試料を分離して分析することは、犯罪を物質的かつ科学的に証明するために極めて重要である。

(講師からのメッセージ)

「NMRによる高分子のキャラクタリゼーション」

(三菱化学) 森 輝雄氏

NMRの高分子への応用を概観していただき、ポリオレフィン測定における問題点と対策等を紹介していただきます。

セッション2: 分科会 7月19日19:00~20:30

セッション1の各講演を呼び水とし、次の3グループに分かれて、日頃困っている問題の相談や今後の発展の方向等について、気楽に意見交換をします。

A分科会: 熱分解ガスクロにおける諸問題

B分科会: 微小部・微小物分析における諸問題

C分科会: NMRにおける諸問題

セッション3: 自由懇談 7月19日20:30~

参加者相互の意見交換の時間です。

セッション4: 講演 7月20日9:00~9:50

「匂いと臭いの分析」

(資生堂) 合津陽子氏

高分子の製品で臭いが問題になることが少なくないが、微量であり、かつ、感覚物質であることから、分析は容易ではない。

高分子に限定せず、匂いと臭いの分析について広くご紹介いただく。

セッション5: 国際学会の出席報告 7月19日10:00~10:45

最近開かれた国際学会に出席された会員から概要を紹介していただきます。飛び入りを歓迎します。

セッション6: 分科会のまとめ 7月19日10:45~12:00

各分科会でどういう意見交換がなされたかを、全体会議で紹介してもらいます。

昼食後解散

4. 参加費

8,000円(ツインの2室での宿泊、および、食事3回の合計)

同一企業から複数の方が御参加の場合、二人目以降の方は10,000円となります。

シングルで泊まりたい方は、4,000円加算。(数に限りがあります)

以上を当日、お支払い下さい。

5. 申し込み

同封の申込用紙にご記入の上、7月14日必着で郵送下さい。期限内でも、定員をオーバーした場合には、先着順とさせていただきますので、御了承下さい。